



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 不二ラテックス株式会社

コード番号 5199 URL <http://www.fujilatex.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 研二

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員財務部長

(氏名) 畑山 幹男

TEL 03-3293-5686

四半期報告書提出予定日 平成27年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,500	6.2	324	—	301	—	205	—
27年3月期第2四半期	3,295	2.0	△5	—	△22	—	△11	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 248百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	16.14	—
27年3月期第2四半期	△0.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,961	2,372	29.8
27年3月期	8,201	2,125	25.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 2,372百万円 27年3月期 2,125百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	0.00	0.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,000	4.3	505	180.2	460	176.8	320	—	25.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	12,861,992 株	27年3月期	12,861,992 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	153,686 株	27年3月期	147,612 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	12,711,404 株	27年3月期2Q	12,716,773 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では堅調な個人消費に支えられ緩やかな景気回復が継続しましたが、欧州では一部の不安要素から景気の停滞が続き、中国をはじめとする新興諸国においても経済成長が鈍化する等、先行きの不透明な状況が続いております。国内経済は、消費税引き上げにより個人消費等に影響がありましたが、企業収益や雇用情勢に改善がみられ全体としては回復傾向が続きました。

経営成績については、中核事業のひとつである医療機器事業は、主力のコンドームを取巻く市場環境は依然厳しい状況が続いております。もう一つの主力分野である精密機器事業は、製造関連企業を中心に顧客ニーズに対応すべく積極的な製品開発と提案営業を推進してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、35億円と前年同四半期と比べ2億5百万円(6.2%)の増加となりました。

利益面につきましては、営業利益は3億2千4百万円(前年同四半期は5百万円の損失)、経常利益は3億1百万円(前年同四半期は2千2百万円の損失)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億5百万円(前年同四半期は1千1百万円の損失)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメント損益は、営業利益又は営業損失に基づいております。

① 医療機器事業

主力の国内コンドームは、販売チャネルとしての大型小売店・ドラッグストア・コンビニエンスストアを中心とした販路開拓に加え、販促企画を含めたネット販売の強化と海外オファーの確実な取り込み、新規開拓を推進しました。この結果、海外向け売上高が拡大しましたが、国内市場の縮小、価格の2極化、新素材製品のシェア上昇により引き続き厳しい展開が続きました。また、冷却商品につきましてはアイテム数を絞ったものの、猛暑の影響もあり増収となりました。一方、プローブカバー(感染予防製品)を中心としたメディカル製品については、市場の認知度も上がり引き続き堅調に推移しました。

この結果、売上高は、9億9千2百万円と前年同四半期と比べ8千9百万円(9.9%)の増加となりました。

セグメント損益は、生産合理化を継続的に進め原価低減に努め増収効果もあり改善が見られましたが、先行する販促費用や一部在庫の除却等もあり6百万円の損失(前年同四半期は2億4千1百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

主力のショックアブソーバ及びロータリーダンパーは、景気の回復に伴い国内市場、輸出とも引き続き受注は堅調に推移しました。主要な市場として位置付けて開拓深耕を続けている住宅設備関連、自動車関連、家電の分野で堅調な受注が継続しました。苦戦をしていた産業用の分野でも設備投資が増加する中、受注も回復傾向となりました。また、増設した自動化ラインが増産とコスト低減に本格的に寄与しました。

この結果、売上高は、21億7千7百万円と前年同四半期と比べ1億1千4百万円(5.6%)の増加となりました。

セグメント利益は、増収および増産効果により4億8千5百万円と前年同四半期と比べ8千3百万円(20.8%)の増益となりました。

③ SP事業

主力のゴム風船が主体となる販促用品市場は景気が回復基調にある中、広告販促活動やイベントに復活の兆しが見られたものの本格的な回復には至らず苦戦を強いられました。

この結果、売上高は、2億2千9百万円と前年同四半期と比べ2千4百万円(△9.8%)の減少となりました。

セグメント利益は、2百万円と前年同四半期と比べ0百万円(△24.5%)の減益となりました。

④ その他

売上高は、1億1百万円と前年同四半期と比べ2千6百万円(35.3%)の増加となりました。

セグメント利益は、2千3百万円と前年同四半期と比べ1千6百万円(259.1%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の総資産は、79億6千1百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4千万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の6千7百万円、受取手形及び売掛金の5千4百万円の減少などです。

負債総額は55億8千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ4億8千7百万円減少しました。主な要因は、支払手形及び買掛金の1億9百万円、短期借入金の2億4千2百万円、長期借入金の1億円の減少などです。

純資産総額は23億7千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億4千6百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金の2億5百万円、その他有価証券評価差額金の3千7百万円の増加などによるものです。この結果、自己資本比率は29.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、12億3千3百万円と前年同四半期連結累計期間と比べ3千6百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ2億7百万円増加し、3億8千4百万円となりました。

資金の主な増加要因は税金等調整前四半期純利益の3億円、減価償却費の1億2千3百万円などです。主な減少要因は仕入債務の減少1億1千万円などです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ9千4百万円減少し、6千6百万円となりました。

支出の主な要因は有形固定資産の取得6千7百万円などです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は、前年同四半期連結累計期間と比べ1億2千9百万円増加し、3億8千7百万円となりました。

支出の主な要因は短期借入金の返済2億4千2百万円や長期借入金の返済1億円などです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年5月15日公表の平成27年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,648,740	1,580,986
受取手形及び売掛金	1,949,136	1,894,180
電子記録債権	24,881	62,130
商品及び製品	317,995	289,840
仕掛品	550,702	526,037
原材料及び貯蔵品	571,197	589,575
その他	190,491	120,274
貸倒引当金	△533	△529
流動資産合計	5,252,610	5,062,496
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	690,459	675,038
土地	1,150,660	1,150,660
その他(純額)	476,993	456,225
有形固定資産合計	2,318,113	2,281,923
無形固定資産	165,223	145,642
投資その他の資産		
その他	461,855	468,740
貸倒引当金	△2,962	△2,895
投資その他の資産合計	458,893	465,844
固定資産合計	2,942,229	2,893,411
繰延資産	6,344	5,224
資産合計	8,201,184	7,961,131
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,242,183	1,132,475
短期借入金	2,308,000	2,066,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	1,436	71,301
賞与引当金	112,250	107,727
その他の引当金	-	6,300
その他	392,033	363,517
流動負債合計	4,275,903	3,967,321
固定負債		
社債	440,000	430,000
長期借入金	600,000	500,000
退職給付に係る負債	238,507	221,859
その他	521,088	469,291
固定負債合計	1,799,596	1,621,150
負債合計	6,075,500	5,588,472

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	928,442	1,133,666
自己株式	△30,775	△32,710
株主資本合計	1,789,129	1,992,418
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,528	92,963
土地再評価差額金	275,145	275,546
為替換算調整勘定	21,339	23,473
退職給付に係る調整累計額	△15,458	△11,742
その他の包括利益累計額合計	336,554	380,240
純資産合計	2,125,684	2,372,659
負債純資産合計	8,201,184	7,961,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,295,019	3,500,706
売上原価	2,676,566	2,545,496
売上総利益	618,452	955,209
販売費及び一般管理費	623,526	630,385
営業利益又は営業損失(△)	△5,073	324,823
営業外収益		
受取利息	202	403
受取配当金	3,219	3,673
受取賃貸料	5,750	-
その他	7,648	6,947
営業外収益合計	16,821	11,025
営業外費用		
支払利息	29,215	28,323
賃貸費用	2,564	-
その他	2,400	6,308
営業外費用合計	34,180	34,632
経常利益又は経常損失(△)	△22,432	301,216
特別利益		
固定資産売却益	70	-
特別利益合計	70	-
特別損失		
固定資産除却損	73	571
固定資産売却損	23	-
特別損失合計	96	571
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△22,458	300,645
法人税、住民税及び事業税	32,628	64,234
法人税等調整額	△43,448	31,186
法人税等合計	△10,819	95,421
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,639	205,224
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,639	205,224

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,639	205,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,131	37,434
為替換算調整勘定	△3,364	2,133
退職給付に係る調整額	3,260	3,716
土地再評価差額金	2,023	401
その他の包括利益合計	7,049	43,686
四半期包括利益	△4,589	248,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,589	248,910
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△22,458	300,645
減価償却費	107,353	123,277
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△70
受取利息及び受取配当金	△3,422	△4,077
受取保険金	-	△1,479
支払利息	29,215	28,323
社債発行費償却	1,119	1,119
有形固定資産除却損	73	571
有形固定資産売却損益(△は益)	△47	-
売上債権の増減額(△は増加)	△105,160	17,925
たな卸資産の増減額(△は増加)	291,695	34,516
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,238	△110,159
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,879	△4,534
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△10,982	△11,515
その他の引当金の増減額(△は減少)	6,353	6,300
その他	41,885	△20,230
小計	320,483	360,612
利息及び配当金の受取額	3,422	4,077
保険金の受取額	-	1,479
利息の支払額	△29,215	△28,323
法人税等の支払額	△117,044	-
法人税等の還付額	-	46,964
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,646	384,809
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△95,088	△67,506
有形固定資産の売却による収入	3,159	-
無形固定資産の取得による支出	△66,743	△1,819
投資有価証券の取得による支出	△1,990	△2,083
その他	△813	4,558
投資活動によるキャッシュ・フロー	△161,476	△66,851
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△64,000	△242,000
長期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
社債の償還による支出	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△20,991	△33,471
自己株式の取得による支出	△130	△1,935
配当金の支払額	△63,535	△550
財務活動によるキャッシュ・フロー	△258,657	△387,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,659	2,245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△245,148	△67,754
現金及び現金同等物の期首残高	1,442,633	1,301,340
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,197,484	1,233,586

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	902,549	2,063,077	254,083	3,219,709	75,309	3,295,019	—	3,295,019
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	902,549	2,063,077	254,083	3,219,709	75,309	3,295,019	—	3,295,019
セグメント利益 又は損失(△)	△241,897	402,062	3,054	163,219	6,476	169,695	△174,769	△5,073

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電工用手袋事業及び食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△174,769千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	医療機器 事業	精密機器 事業	SP事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	992,066	2,177,627	229,083	3,398,777	101,928	3,500,706	—	3,500,706
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	992,066	2,177,627	229,083	3,398,777	101,928	3,500,706	—	3,500,706
セグメント利益 又は損失(△)	△6,178	485,564	2,306	481,692	23,255	504,948	△180,124	324,823

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食容器事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△180,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。